

平成27年度 インターンシップ 生徒アンケート調査結果

(一社) 福島県電設業協会

文部科学省における学習指導要領の改訂により、職業教育を主とする専門高校(学科)においては、「生徒が産業の現場などにおいて就業体験を行い、もって職業や産業の職場などを知り、将来の自分の生き方や進路を考えさせる」ことを目的として、在学中のインターンシップ(職場体験学習)をすべての生徒に行う制度として位置付けられており、当協会も趣旨を理解し平成8年度会津支部、16度よりいわき支部で実施していましたが、平成25年度よりは協会の社団法人化による、公益活動の一環として、また、優秀な人材の継続的な確保を行っていくためにも助成金制度の設立をし、全体的に積極的に実施しているところであります。

なお、インターンシップでは、生徒さんが学ぶ立場から「無給」とし、受入企業にも「インターンシップは採用選考の資料としない、進路の青田刈りに至らないよう」など配慮を求めました。

調査実施期間：平成27年6月～平成28年1月

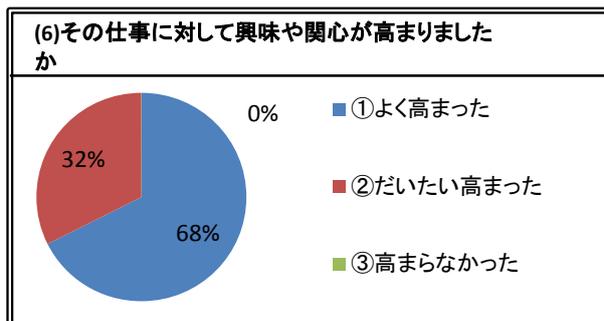
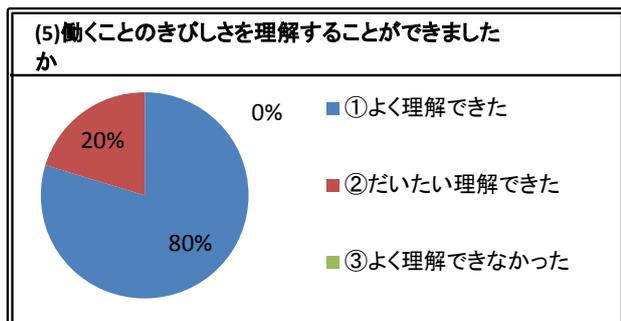
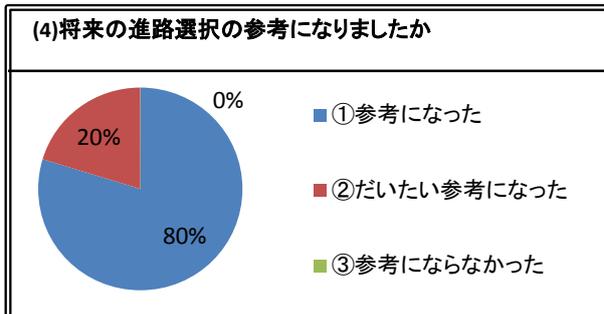
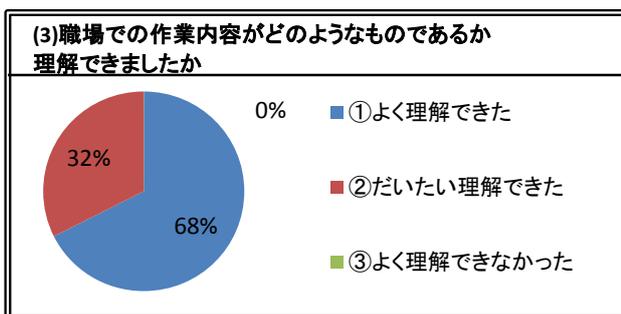
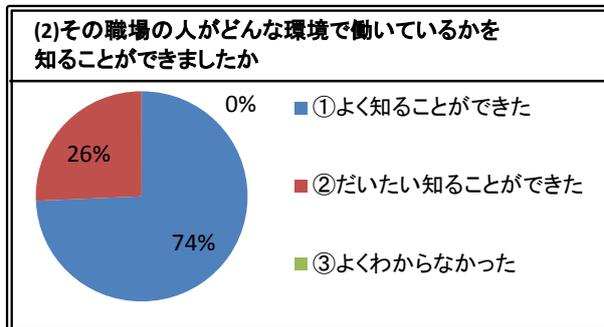
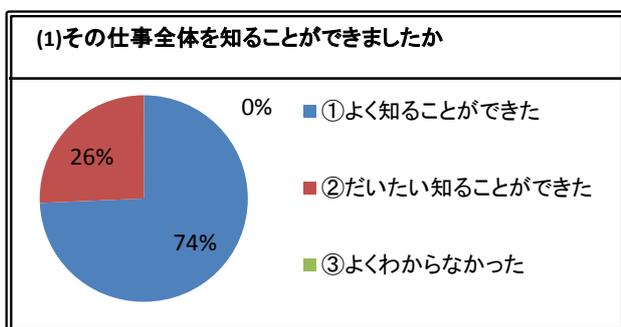
受入生徒数：96人

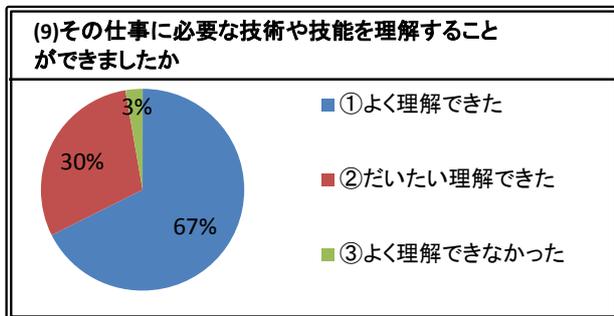
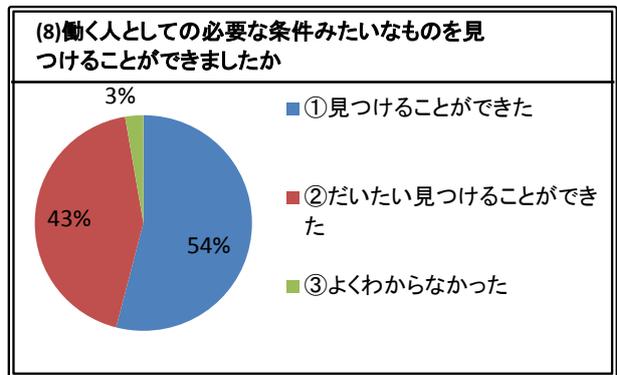
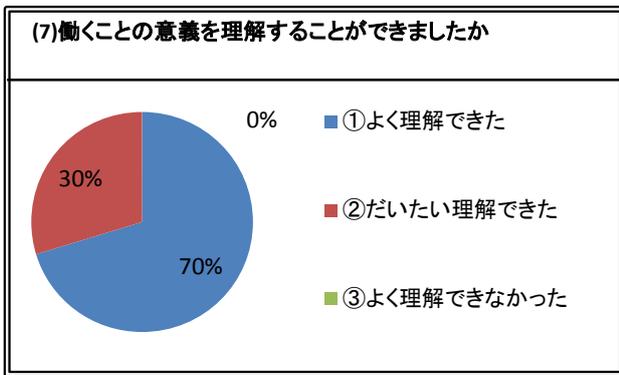
受入会員：34社

アンケート回答数：74人 回答率77%

I. 「インターンシップの意義や目的」について

- ・今回の実習から働く職場とはどんなところなのか、作業内容などもほぼ理解できたようです。
- ・将来の進路選択にも参考になったのではないかと思います。
- ・働くことの意義、きびしさも理解できたのではないかと思います。
- ・昨年に比べ仕事への関心があまり高まらなかったようです。





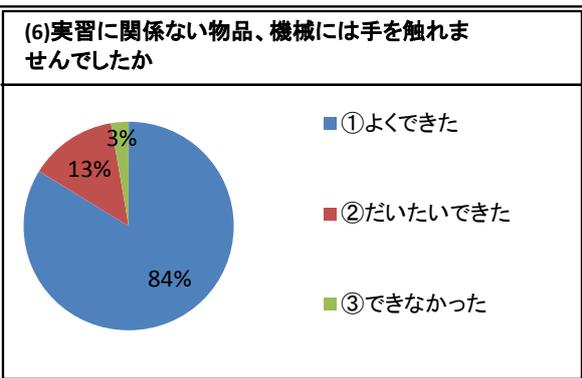
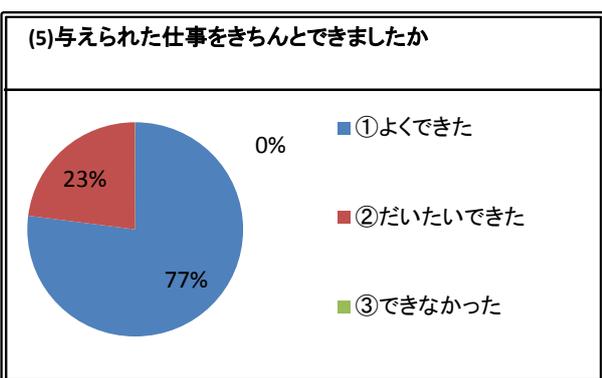
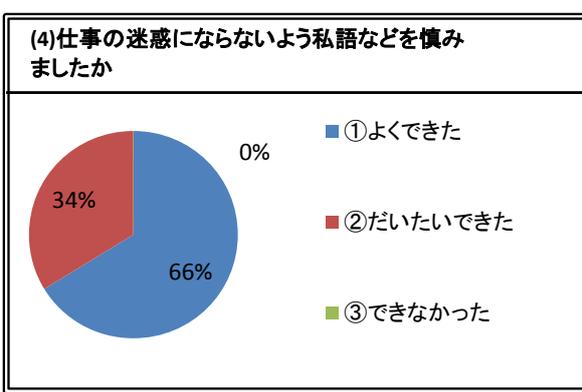
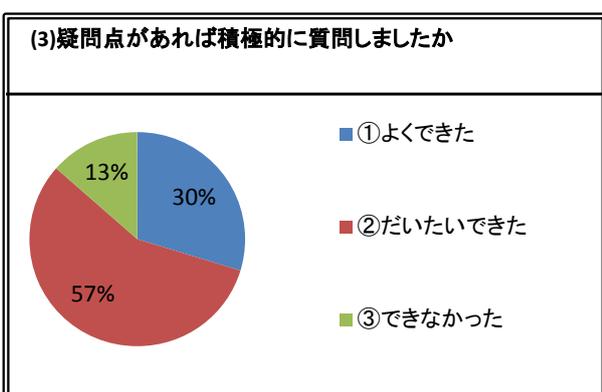
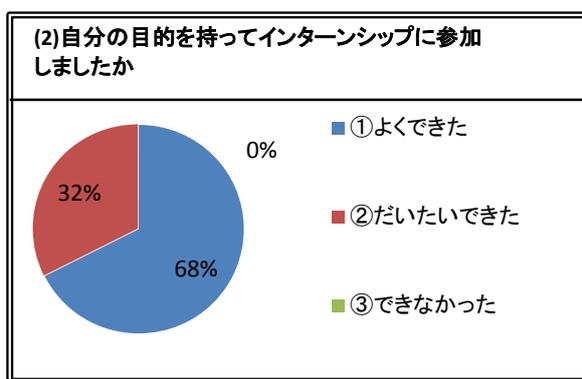
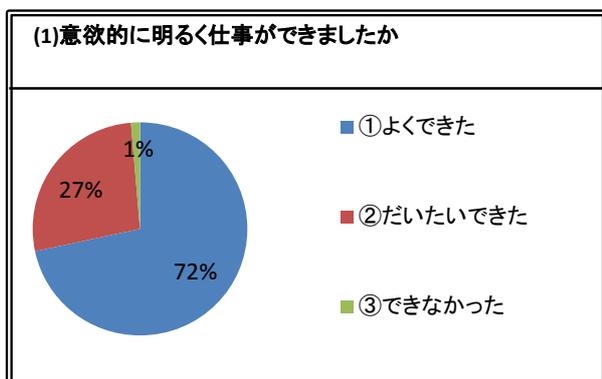
(10)またこの次インターンシップがあるとすると、どのようなものを希望しますか

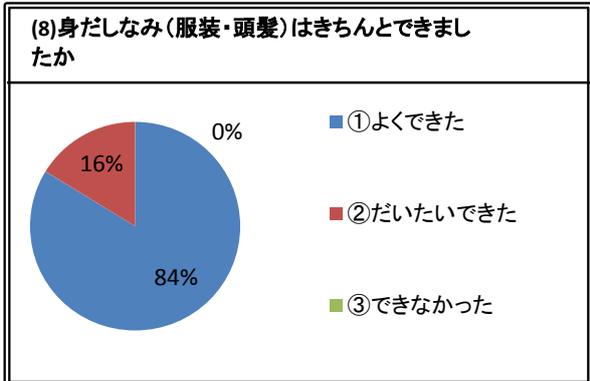
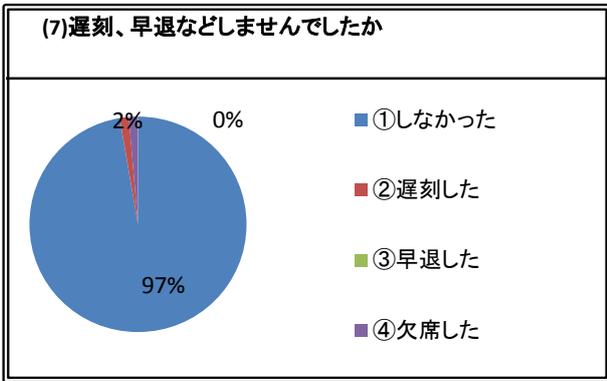
- ・実際の弁場の仕事を体験してみたい
- ・実際の現場での軽い作業
- ・工事現場での作業をもう少しやりたい
- ・実際の作業などをもう少しやりたい
- ・実際の会社での仕事と同じようなことをやりたい
- ・今回と同じようなこと
- ・現場での作業風景の見学
- ・もっと深く勉強したい
- ・もっと自分たちでやってみたい
- ・実際の現場に行ってもっと作業をする
- ・現場での作業
- ・工場系
- ・製造業関係
- ・製造業
- ・同じ電気関係の仕事を希望したい
- ・システムエンジニアリング プログラミング系の職種
- ・電気関係で興味をもったもの
- ・今回のような内容の濃いもの
- ・電気の簡単な仕事を少しやりたい
- ・今回と同じような内容かそれ以上の内容
- ・通信情報関係
- ・発電所などの見学
- ・学校で習ったことが活かせる仕事ができないか
- ・配線作業をやってみたい
- ・同業種でやりたい
- ・自分にあった作業
- ・今回とは違う工事を体験したい
- ・現場で働いている人の仕事をみてみたい
- ・現場での見学
- ・現場で働いている人の見学
- ・現場の観察
- ・専門的な仕事
- ・電設に関わる仕事を希望します
- ・民間の電気工事（公共工事ではなく）
- ・将来に向けて電設業を希望します
- ・将来、電設業につきたいと思っているので電設業を希望します。
- ・将来、電気会社で働きたいので電気会社を希望します。

- ・配線作業をやってみたい
- ・違う会社であれば
- ・配電工事
- ・実際に作業したい
- ・電気関係のものを作りたい。
- ・仕事の中での体験作業
- ・作業の体験
- ・配線
- ・実際に作業ができる
- ・たくさんの職種を体験したい
- ・さらに電気工事の現場を知りたい
- ・建築会社
- ・接客
- ・接客などをしてみたい
- ・もっと現場をみたい

II. 参加する態度について

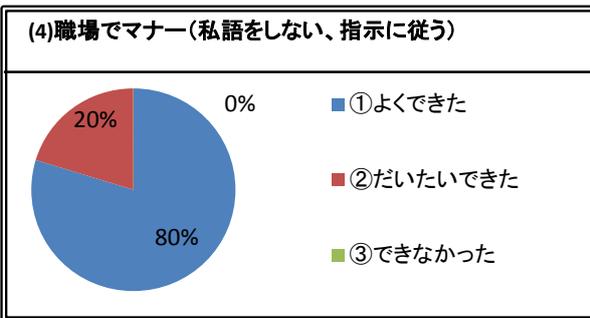
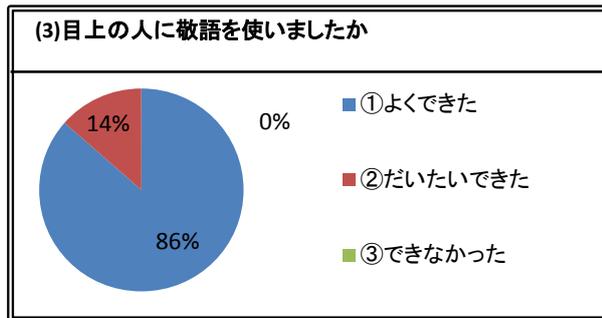
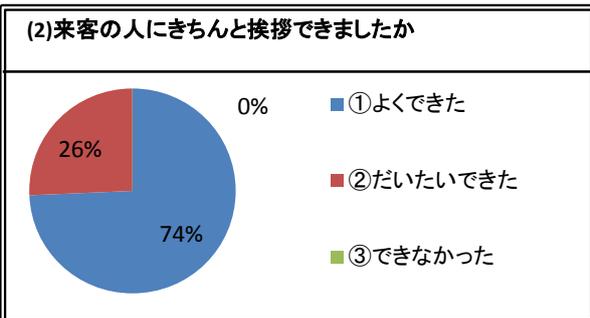
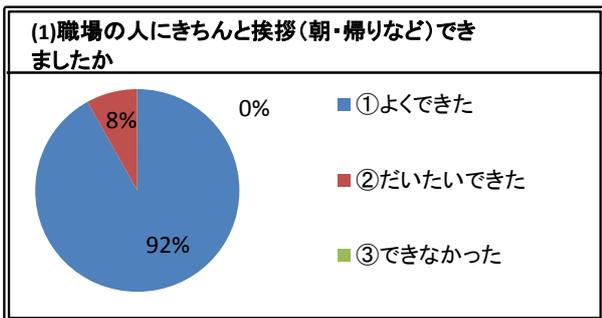
- ・遅刻や身だしなみなどは、よくできていたようです。
- ・「意欲的に明るく仕事ができただか？」については、良くできなかったようです。初めての職場での就業体験で緊張していたのではないのでしょうか。
- ・「疑問点に対する積極的な質問」あまりできなかったようですが、仕事内容などの事前研修などが必要かと思えます。今後の課題かと思えます。





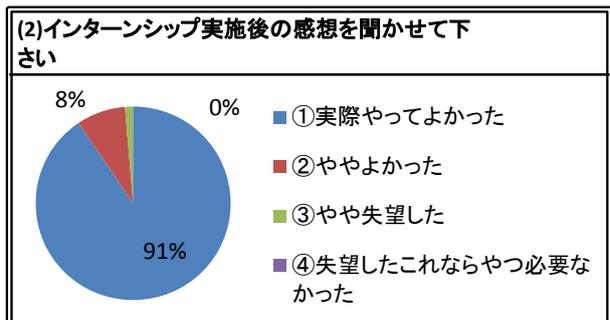
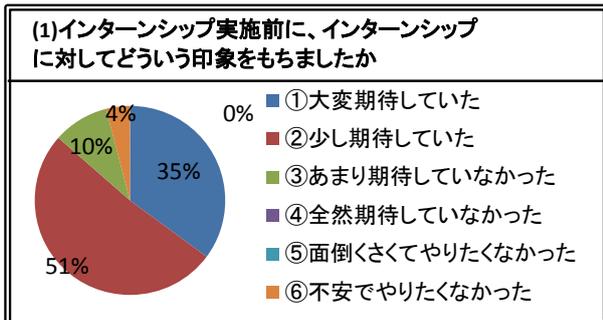
III. 「礼儀などマナー」について

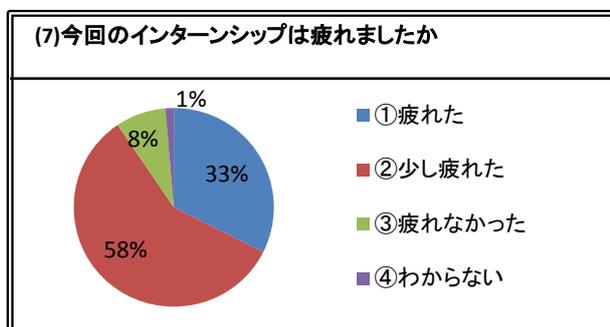
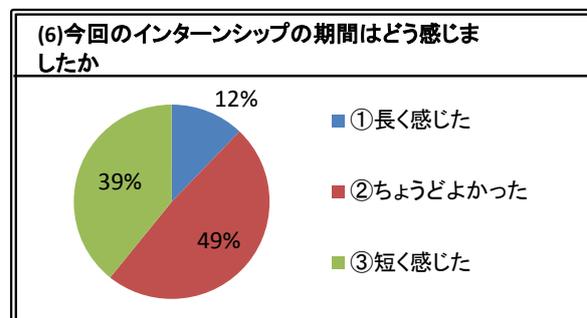
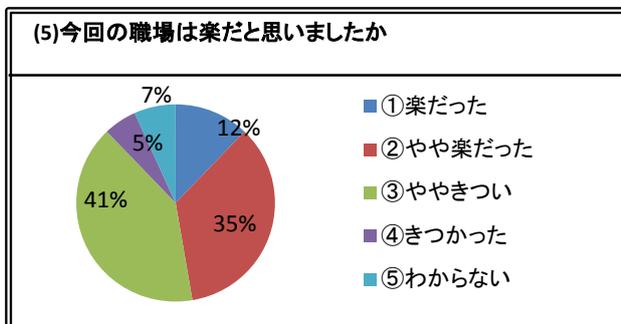
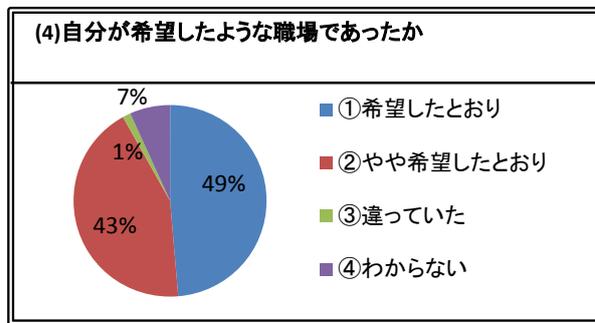
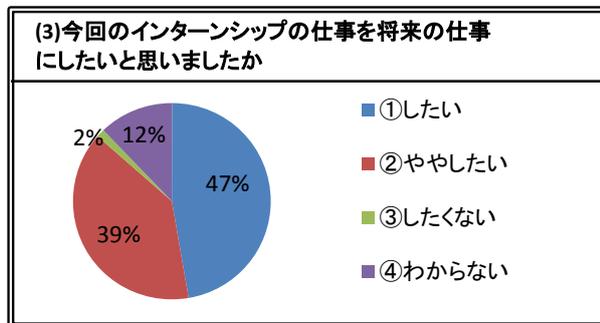
・昨年に比べ挨拶、マナーが向上したようです。



IV. 「体験した職場」について

・「自分が希望していた職場」、「将来の仕事にしたい」と思っている生徒が八割位





V. インターンシップの今後の課題

- ・スムーズな実習ができるように、事前に目的意識をさらに徹底させるための十分な事前指導の実施。
- ・受入れ支部と学校の間で、事前に実施時期、期間等の打合せを行い、効果的なものとする。
- ・生徒さんの希望の希望として、「他の作業も経験したい」等の意見が多いため、協会としても基本カリキュラムの策定・充実などを検討したい。
- ・実習中の生徒の事故（傷病）が起きた時に対する学校との対応を徹底する。